

## iColor Flex SL

アイカラー フレックス エスエル

### ユーザーガイド 取扱説明書

この度はiColor Flex SLをお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドではiColor Flex SLの操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。iColor Flex SLを正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

箱には以下のものが入っています。  
•iColor Flex SL 1本  
•エンドキャップ

専用のパワー／データサブライ (別売) をご用意ください。  
•PDS-60ca 7.5V

また、必要に応じて以下のオプション製品(別売)をご用意下さい。  
•専用取付レール4フィート (1.2m)  
•専用取付クリップ (50個/セット)

## 1. はじめに

### ◆ 1-1 アドレスの設定

iColor Flex SLの各ライトノードには、連番のライトアドレス (ライトナンバー) が割り振られます。アドレス設定の方法は、コントロール方法および使用するパワー／データサブライPDS-60ca 7.5Vのタイプによって異なります。

#### 1. PDS-60ca 7.5V プログラム内蔵タイプ

PDS-60ca 7.5Vにライトアドレス1～170 (DMXチャンネル 512Ch分) に対応するプログラムが内蔵されており、iColor Flex SLには自動的に1から始まる連番アドレスが割り振られるため、アドレス設定の必要はありません。

#### 2. PDS-60ca 7.5V DMX／イーサネット タイプ

•DMX使用時  
PDS-60ca 7.5V DMXタイプに事前のアドレス設定 (ベースアドレスの指定) が必要です。出荷時設定でPDS-60ca 7.5Vの接続ポートOut1に対しベースアドレス「1」が設定されていますので、iColor Flex SLの各ライトノードには1から始まる連番アドレスが割り振られます。ベースアドレスを変更したい場合は、出荷時サービスをご利用いただくか、PDS-60ca DMXタイプ用アドレス設定ツールを用いて変更をすることが可能です。  
(※PDS-60ca DMXタイプ用アドレス設定ツールをご使用になるにはパソコンおよびiPlayer3が必要です。)  
•イーサネット 使用時  
イーサネットでは、イーサネット・コントロールシステム Light System ManagerまたはVideo System Managerが、パワー／データサブライやそれに接続されたライトの情報をイーサネット上で認識し相互通信を行うため、アドレス設定の必要はありません。

## 2. 設置方法

### 注意

- 専門の電気工事業者の指示に従って設置してください。
- 電源は配線を終了してから入れてください。
- 通電状態でライトの取替えを行わないでください。

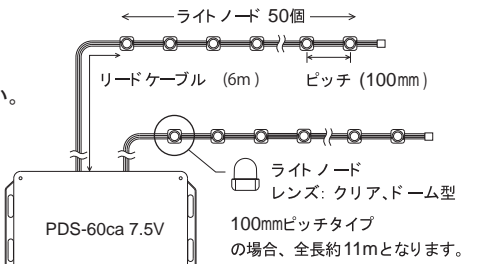
### ◆ 2-1 設置位置の決定

パワー／データサブライPDS-60ca 7.5VとiColor Flex SLの配置関係を決定します。

### 注意

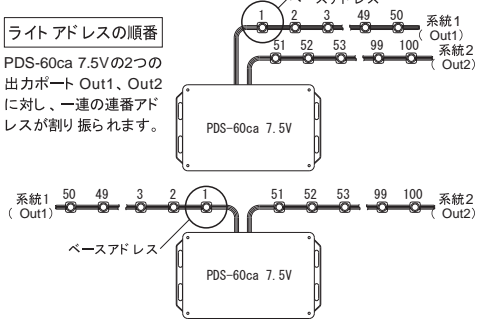
- PDS-60ca 7.5VはiColor Flex SL 2本 (ライトノード50個×2本) ごとに必要です。
- iColor Flex SLのリードケーブルは6mのため、PDS-60ca 7.5Vは6mの距離内に設置してください。リードケーブルの切断や延長はしないでください。
- iColor Flex SXの各ライトノードには、PDS-60ca 7.5V側から順番に、連番のライトアドレスが割り振られますので、正しい演出効果が得られるよう、ライトノードの配置方向にご注意ください。

図1 iFL-001-4-WH-CDの場合



- PDS-60ca 7.5V 1台につきiColor Flex SL 2本まで接続可能 (ライトノード50個×2まで)
  - PDS-60ca 7.5VからiColor Flex SLの最初のライトノードまでの距離は6m
- ※リードケーブルの切断や延長はしないでください。

図2



### ◆ 2-2 iColor Flex SLの取付方法

※施工業者と打合せの上、事前に取付方法をご確認ください。

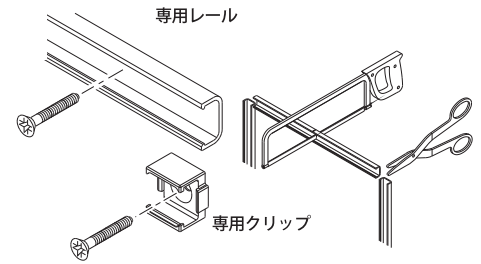
#### 1. 取付オプションアクセサリを使用する場合:

- 専用取付レール: レールはプラスチック製ですのでニッパーなどで適当な長さに切ってください。レールは取付面に適切なビスを使って留めます。目安としては約40cm間隔で支持してください。
- 専用取付クリップ: クリップ裏面の両面テープで取付面に仮止めしてから、適切なビスを使って取付けてください。

### 注意

取付クリップの間隔はiColor Flex SLのピッチや曲げしるを考慮して付けてください。

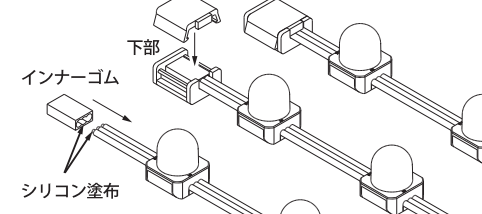
図3 取付オプションアクセサリ (別売)



#### 2. iColor Flex SLのライトノード 数を調整する場合:

- 必要に応じて、使用しないライトノードを切断することが出来ます。ただしその場合、付属の終端キャップを用い、必ず適切な防水処理を行ってください。
- 手順は以下のとおりですが、ユーザー様にてライトノードの切断を行い製品に不具合が生じた場合は、切断処理の方法及び不具合の原因によらず、保証の対象外とさせていただきますのでご了承ください。ライトノードの切断は、弊社にて承りますので、出荷時にお申しつけいただくことをおすすめします。
- ケーブルの切断は、最端のライトノードから最低2.5cmの距離を残してください。また切断面でケーブル同士が接触しないようにしてください。
  - ケーブルの切断面とエンドキャップのインナーゴム部に、RTVシリコンを十分塗布します。
  - ケーブルをインナーゴムにしっかり入れ込み、エンドキャップの上下をスナップが効くまでしっかり閉めます。プライヤーなどを使用する場合は、壊れないよう注意してください。

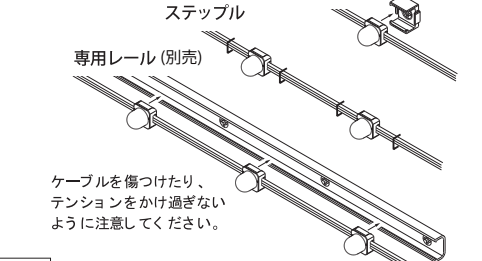
図4



### 注意

- ライトノードは、取付レールや取付クリップにバチンとなるまで確実にはめ込んでください。
- ステップルなどで製品を固定する場合は、ケーブルを傷つけたり、きつく押さえすぎないようにしてください。
- ケーブルやライトノードに過度な振動やテンションがかかることとデータ通信に支障がでることがありますのでご注意ください。

図5



### 注意

- 本製品は防雨型ですが、屋外で使用する場合はケーブルが損傷を受けないよう適切な保護を行ってください。
- 熱の影響を受けやすい場所への設置はしないでください。

## 3. PDS-60ca 7.5Vへの接続

iColor Flex SLの接続コネクタをパワー／データサブライPDS-60ca 7.5Vの配線口を通して内部の4ピンコネクタ (Out1/Out2) に差し込みます。  
配線口に、付属のケーブルグランドをはめ、ケーブルの保護をしてください。(図6参照)

## 4. データの接続

データはPDS-60ca 7.5Vを通じてiColor Flex SLに送られます。データの送信方法は、制御方法により異なります。(図7、図8、図9参照)

図7 内蔵プログラムコントロール

制限: 1系統あたり50ノード  
PDS-60ca1台につき: iColor Flex SL 2本接続可能  
リードケーブル: 6m

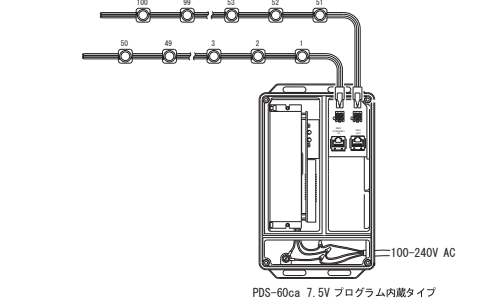


図8 DMXコントロール

制限: 1系統あたり50ノード  
PDS-60ca1台につき: iColor Flex SL 2本接続可能  
リードケーブル: 6m

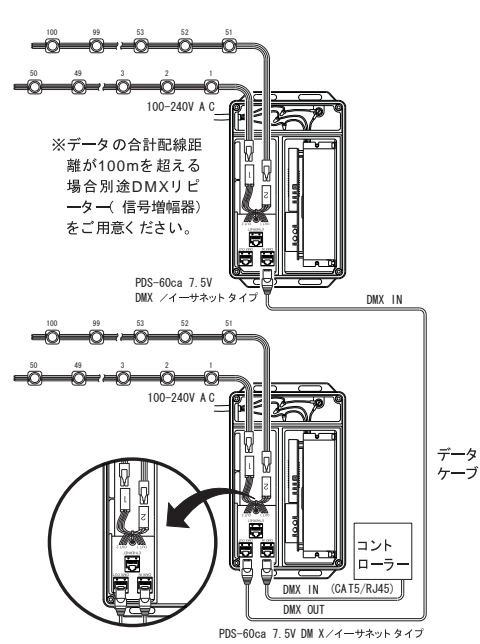
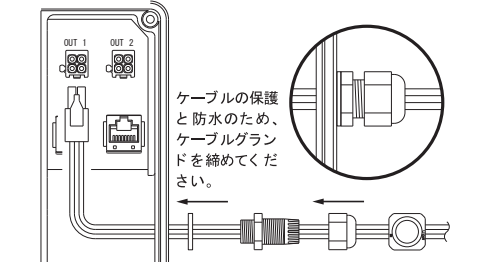


図6 ライトの接続



## 5. 用語解説

◆ ライト ナンバー (アドレス) とDMXチャンネル  
本製品はライトナンバー (アドレス) として1～170まで別々の設定が可能です。DMXチャンネルでは1灯につき3chが必要で、170灯で510chを使用する事になります。  
ライトナンバーとDMXチャンネルの関係は以下の通りです。

ライトナンバー	1			2			169			170		
DMXチャンネル	1	2	3	4	5	6	505	506	507	508	509	510
対応色	R	G	B	R	G	B	R	G	B	R	G	B

R: 赤 G: 緑 B: 青

### ◆ DMXとDMX512

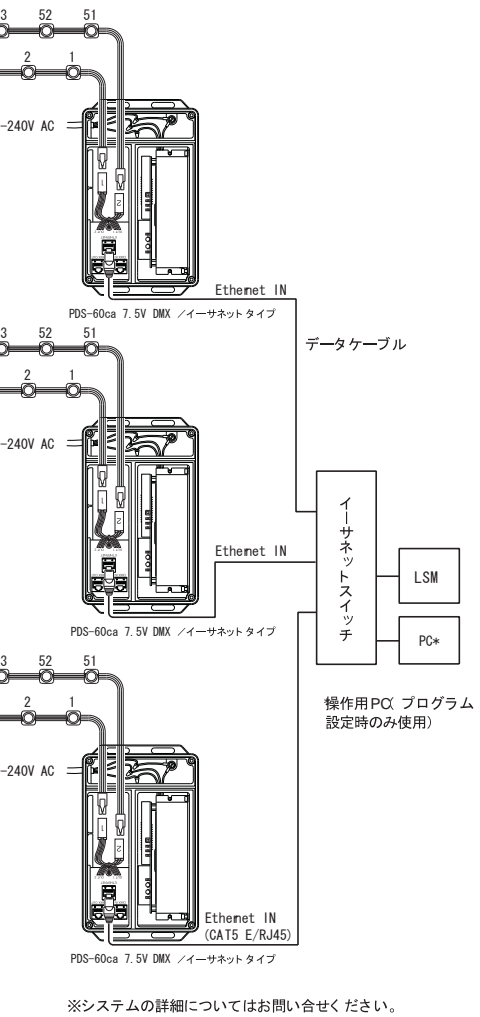
DMXはDigital MultipleX (デジタル多重送信システム) の略。異なるメーカーの照明コントロール機器の相互接続を可能にしたデータ送信の規格です。DMX512プロトコルは照明操作卓から調光を行うためのインターフェースの規格を作るためにUSITT (米国演劇協会) の委員会では1982年に開発されました。

### ◆ イーサネット

複数のコンピュータを接続するための通信規格。Light System ManagerやVideo System Managerでは独自のネットワークを構築します。

図9 イーサネットコントロール

制限: 1系統あたり50ノード  
PDS-60ca1台につき: iColor Flex SL 2本接続可能  
リードケーブル: 6m



## 6. 定格・使用環境

### ・ 定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
DC7.5V	3.3A	25W 最大

### ・ 使用環境

場所	温度	湿度
屋内外	-20℃～50℃	0%～95% 結露なし

## 7. 安全上のご注意

### ◆ 照明器具のご使用について

#### 警告

- 火災のおそれがあります
- 不安定な場所で使用しないでください。
- 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。

#### 感電・火災のおそれがあります

- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物 (金属や燃えやすい物など) を差し込まないでください。

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないでください。

#### 感電・火災のおそれがあります

- 異常時 (煙が出たり、変なにおいがする等) には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

#### 感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

### 注 意

- 必ずメンテナンス可能な場所に設置してください。
- 器具を水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
- 器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
- 防雨形器具ですが、風呂場等の湿気の多い場所には取付け出来ません。感電・火災の原因となることがあります。
- 屋外でも使用可能ですが、使用環境や期間によっては、器具へのダメージ・劣化を防ぐため必要に応じ適切な器具の保護を行ってください。
- 器具の表面に鋭利なものが当たらないよう、設置環境にご注意ください。
- 器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
- 器具の着脱の際は、両手で静かに扱い、取付けは確実におこなってください。落下によるけがの原因となることがあります。
- 明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に (6ヵ月に1度程度) 清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。発火・火災の原因となることがあります。

### お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる所に、大切に保存してください。ご不明な点がございましたら、販売店にご相談ください。

## 8. 保証について

本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きにしたがった正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店もしくは株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンまで連絡下さい。(尚、特別に訪問をおこなった場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。)

- 保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。
- ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
  - 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
  - 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
  - お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障及び損傷の場合。

### ◆ 米国内及び海外での特許申請

当社は、当社の照明製品及び制御装置の購入者に対し、クロマコアを個人的に使用できるが譲渡不可能な使用权を許諾しています。クロマコアは当社が特許を取得した技術で、イルミネーション、ディスプレイ、及びデザインに使用されるLEDベースの色変化照明器具をネットワーク上で制御できる技術です。この使用許諾権は当社だけがその付与を認めるものであり、当社の承認なしに譲渡することはできません。LEDベースの色変化照明をネットワーク制御する技術を使って、他の製品を設計、複製、製造、又は販売することは禁止されるかもしれず、また、そのような行為はこの文面では許可されていません。